

10月誘導外注化絶対反対！仲間を出向から返せ！

本日第2波スト突入！

職場の皆さん！動労水戸は本日3月12日、外注化粉碎を柱とする第2波ストに突入します。今年10月1日からの誘導の外注化を絶対に阻止し、不当な出向に出された仲間を取り戻すため、誘導と構内運転士の仲間が17時05分から指名ストに入ります。MTSは3月16日のダイ改を直前に控えた今でも、組合無視を開き直り、まともな説明・訓練を行うことすら放棄しています。このままでは現場の混乱と安全の崩壊がよりいっそう進むことは目に見えています。さらに、スト通告を受けて、不当・違法を百も承知で会社は再び「業務指示」でスト破りを青年に強制しようとしています。「業務指示」とさえ言えば何をやっても許されると思っているのでしょうか？労働者をなめるのもいい加減にしろ！先日3月6日の第1波ストですますます明らかになったデタラメな外注化に対し、怒りを倍にして共に抗議し闘いましょう！

3月6日の勝田車両センターストでは、MTS出向者の2人がストに入りました。「スト破り」代務をめぐって会社はデタラメの限りを尽くしました。管理者が何の根拠も正当性もない口頭の「業務指示」を乱発。青年労働者を脅迫し、休日返上の代務を強制し、さらに車掌試験に行っている仲間はまだ出勤を命じたのです。それでも作業検査の欠員時間が発生すると何と「一人片側作業検査」が命じられました。当然にも抗議されると、作業指示責任者で無資格の当直助役が自ら作業検査をやらうとしたのです。前代未聞の違法行為です。こんなことのための「業務指示」とは何なのでしょう。一片の正当性もありません。鉄道会社にあるまじき暴挙であり、安全への徹底的な無責任です。安全と労働者への責任の丸投げ。それが外注化の狙いであり本質であることが事実として明らかになりました。鉄道労働者の誇りと未来をかけて、外注化に絶対反対し闘いましょう！

労働者を守らず会社と自分の身を守る組合幹部の支配によって、JRでは長らくストライキという労働者の決定的な権利行使が奪われてきました。しかし、日々の職場の労働に誇りと責任を持って働いているからこそ、労働者はストライキの行使で会社の横暴や理不尽な命令から身を守ることができのです。私たちの第1波ストでは、MTSの作業検査2名の仲間がストに入り、多くの職場の青年がストに協力したことによって、会社は完全に対応不能に陥りました。それは労働者に大きな力があることを示しています。この秋には誘導が外注化されようとしています。次は全面外注化です。そうなれば戻るとい

ろなどありません。「1割の管理者と残り9割の非正規職」という社会構造をJRはさらに推し進めようとしているのです。退職までの年数を数えて「逃げ切り」を考える一部の年配者や「提案やつて金を稼いで楽しくやりましょう」などと言う無責任なMTSの幹部に、これからの青年たちの運命が任せられるはずがありません。外注化を阻止し、鉄道の安全を労働者の手で守りましょう！私たちと共に闘うことを強く訴えます！



3月第1波ストに立つ（3月6日）

国鉄水戸動力車労働組合

029-227-6020 doromito@yahoo.co.jp